

そよ風

第 4 号

今治市立立花中学校

2018 ロシアワールドカップが開幕しました。日本代表の活躍は本当に素晴らしいですね。

サッカーには、人を動かす力があります。ロシアで初のワールドカップ。多くの民族が共存する、この国で行われる祭典だからこそ、サッカーの持つ魔法の力に期待したことがあります。それが、人種差別撲滅への戦いなのです。



今回はワールドカップでの差別撤廃へ国際サッカー連盟（FIFA）の取り組みを紹介します。

W杯で差別撤廃へ・・・FIFAは審判に試合を放棄する権利を与えると発表

国際サッカー連盟（FIFA）のインファンティーノ会長が声明を発表し、2018 FIFAワールドカップロシアでの人種差別行為に関して、レフェリーに試合を放棄する権限を与えることを発表した。

FIFAは以前、ロシア国内の人種差別のレベルを「全く受け入れられない状態」と公言し、ロシアW杯での差別問題に懸念を示していた。今回、FIFAのインファンティーノ会長はW杯の試合中に差別的な事件が起きた場合、レフェリーには試合を停止し、放棄する権限を与えると明言した。

この措置には試合の停止、延期、放棄の「3ステップ」の手順が含まれている。実際にFIFAコンフェデレーションズカップロシア2017でも採用されていたが、幸いなことに、試合に影響を受けなかったようだ。試合には欧州人種差別撲滅ネットワークに選ばれた人物がオブザーバーとして配置され、試合の様子をモニタリングしながら判断する。

インファンティーノ会長は人種差別撤廃に向けて「対処すべき優先事項だ」と述べ、懸念に値する問題であることを強調した。「我々はしっかりと対策を講じる。もちろん、ロシアではフェアプレーが行われ、事件が起こらないことを確信しているよ。」

最近では2017年9月26日に行われたUEFAユースリーグのスパルタク・モスクワ対リヴァプールで、スパルタク・モスクワのサポーターによって、人種差別の趣旨を含んだチャント（応援歌）が選手に向かって歌われる事件が発生した。この件に関してクラブは、欧州サッカー連盟（UEFA）懲戒処分を科せられている。ロシアでは差別問題が相次ぐだけに、FIFAはW杯での対策をいち早く発表したようだ。

参考サイト サッカーキング HP (2017. 11. 29)

FIFAは世界の人たちが楽しみにしている今回のワールドカップで、人種差別撲滅に決死覚悟で臨んでいます。サッカーですべてを変えられるわけではないと思います。でも、人の心を動かす推進力になります。ぜひ、国の威信をかけた素晴らしい戦いと共に、素晴らしい友情の輪が広がることを期待しています。